

IBM FlashSystem 5200 の製品概要

小さなフットプリント。大きなインパクト。

特長

1台

手頃な価格のラック・ユニット1台でワークロードを高速化。

100%の可用性¹

高いレベルの可用性でミッション・クリティカルなアプリケーションに対応します。

最高1.7ペタバイト

わずか数台のドライブで始め、1台で最大1.7PBから32PBまで、ビジネスニーズに合わせて拡張が可能です。

IBM Spectrum Virtualizeで構築

ソフトウェア基盤は、IBM FlashSystem 5200のためのエンタープライズ・グレードのデータ・サービスを提供します。

IBM Cyber Vaultによるサイバー・レジリエンス

サイバー攻撃の検知と復旧を迅速化し簡略化します。

IBM FlashSystem® 5200は、コンパクトでパワフルなフラッシュ・ストレージ・ソリューションとして、お客様のニーズに合う手頃な価格、パフォーマンス、拡張性、保護、および管理の簡素化を提供します。

- セキュリティー重視の設計
サイバー攻撃の検出と復旧を迅速化するサイバー・レジリエンス・ソリューション
- ハイブリッドクラウド・ストレージの機能
プライベート・クラウド、パブリック・クラウド、ハイブリッドクラウドの導入に対応したスケーラブルなサポート
- 妥協のない手頃な価格
容量と予算のニーズを満たす経済的なオールフラッシュ・ストレージ・ソリューション
- 高いパフォーマンスとレジリエンス
エンタープライズ・グレードの機能を備えた、強力なエントリー・レベルのNVMeオールフラッシュ・ストレージ

ハイブリッドクラウドの最適化とビジネスの俊敏性の向上

ハイブリッドクラウドの統合により、時間とお金を節約しながら、データ・センターの将来性を確保することができます。IBM FlashSystem 5200は、その機能とデータサービスを、オンプレミス環境だけでなく、パブリッククラウドやプライベートクラウドにも拡張します。小規模から始めて、ビジネスの要件の増大に応じて柔軟に拡張できるハイブリッドクラウドを成長させてください。

IBM Spectrum® Virtualize for Public Cloudで、ストレージ・ベースのリアルタイムなデータ・レプリケーションと災害復旧、および既存の業務インフラストラクチャーと主要クラウド・プロバイダー間のデータ移行を実現します。業務アーキテクチャーをIBM Cloud®、Amazon Web Services (AWS)、そしてまもなく登場するMicrosoft® Azureなどのパブリッククラウド・サービスと統合することで、ビジネスの俊敏性を高め、データのレジリエンスと安全性を維持することができます。

効率を高め、費用を削減

IBM Spectrum Virtualizeを組み込んで構築されたIBM FlashSystem 5200は、重複排除、圧縮による革新的なデータ削減オプション、自動のシン・プロビジョニングなどのエンタープライズ・クラスの機能を提供し、このすべてで容量と効率を改善することで、少ないスペースに多くのデータの保存が可能になります。AIを活用したIBM Easy Tier[®]は、アクセス頻度の高いデータを高性能なフラッシュ・ストレージに自動的に移行し、コストとパフォーマンスをバランスよく両立させます。これらのサービスや追加のデータ・サービスは、500以上の異機種混在のストレージ・システムに拡張でき、既存システムにパフォーマンスと効率性をもたらします。パフォーマンスの向上と階層型ストレージ環境の統合により、使用スペースが少なくなり、設置面積やメンテナンス費用などの運用コストを削減することができます。

- データ削減を保証
自己分析で2:1 (ワークロード・プロファイルで最大5:1)²
- ゼロ・コストでの移行
IBMおよびIBM以外の500台以上のストレージ・コントローラから、90日間無償でデータを移行可能
- 市場で入手可能な最高レベルの高密度フラッシュ・ドライブ³
IBM FlashSystem 5200では、独自のIBM FlashCore[®]モジュールに対応しています。これによって、パフォーマンスに影響なしで3:1圧縮と暗号化が利用できます。

NVMeとAIによる最新化

FlashSystem 5200は、堅固なNVMeに最適化されており、IBM FlashCoreモジュール、業界標準のNVMeドライブ、ストレージ・クラスのメモリを柔軟に選択し、組み合わせで生産性を向上させることができます。NVMeフラッシュは、ストレージのレイテンシーを軽減しながらワークロードを加速させるので、常にスピードと高可用性を実現できます。

クラウド対応かつ予測的AIベースの分析で最適化された **IBM[®] Storage Insights**によって、自動化されたサポート機能でストレージ能力とパフォーマンス・レベルでの変化をリアルタイムで監視し、問題を特定してすばやく解決します。

- エントリー・スペースで並外れたパフォーマンスを発揮し、ビジネスの意思決定を加速します。
 - 70マイクロ秒未満のレイテンシー
 - 1台で最大150万IOPS、21GBのスループット
- Storage Insightsでインフラストラクチャーの健全性とパフォーマンスを向上させます。
 - 自動で66%のシステムの問題を解決します。
 - ケース開始からのアクション計画を40%高速化します。

IBM FlashSystem 5200によって高い可用性とセキュリティが組み合わされ、データ・レジリエンスが提供されます。機能には、99.9999%の可用性や、IBM FlashCopy[®]、非破壊的なデータ・マイグレーション、IBM HyperSwap[®]テクノロジーによるリモート・ミラーリングが含まれます。

このソリューションでは、ハードウェア暗号化と、サイバー・リスクから保護するために不変で分離されたデータ・コピーを提供するIBM Safeguarded Copy[®]が提供されています。Safeguarded Copyは、ユーザー・エラー、悪意のある破壊、ランサムウェアの攻撃からデータ復旧を保護し、中断のないデータアクセスを可能にします。

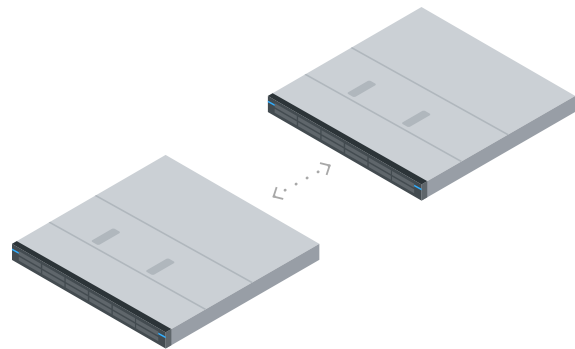


図1: IBM HyperSwapは、アクティブ/アクティブ、メトリ同期レプリケーション、RPO/RTOなし、無停止のデータ移動などによって、高可用性を強化します。



Cyber Vaultによるサイバー・レジリエンス

サイバー脅威は常に拡大しており、攻撃による復旧時間は平均21日間とされています。IBM Safeguarded Copy上に構築されたIBM FlashSystem Cyber Vaultがあれば、サイバー攻撃からの復旧時間が数日から数時間に短縮できます。

IBM Cyber Vaultはサイバー攻撃の検出と復旧のすべてのフェーズを迅速化できるように設計されています。このソリューションは継続的に動作し、Safeguarded Copyが自動的に作成するスナップショットを監視して、破損がないかチェックします。攻撃を示す可能性がある変更が認められた場合、Cyber Vaultによって最新の「安全な」スナップショットも特定します。これにより、そこまでの復旧がよりシンプルに、よりスピーディーに行えるようになりました。新しいIBM FlashSystemストレージでは、アプリケーションの機能を損なうことなく、それらのサイバー・レジリエンス・ツールを展開するためのパフォーマンスを提供します。

IBM FlashSystem 5200を詳しく知る

IBM FlashSystem 5200は、エントリー・スペース向けの将来を見据えたフラッシュ・ストレージ・ソリューションです。あらゆる規模の企業が、ビジネス要件の進化に合わせて拡張できる、統合された柔軟なストレージ・ソリューションを選択できるようになりました。そのすべてが、FlashSystem製品群の合理的なワン・プラットフォーム・モデルで実現されています。

[詳細を見る](#) →

[比較](#) →



技術仕様

| | |
|----------------------------|--|
| ソフトウェア | IBM Spectrum Virtualize IBM Storage Insights |
| ホスト・インターフェース | 10Gbpsイーサネット(iSCSI)、25/10Gbpsイーサネット(iSCSI、iSER—iWARP、RoCE v2)、 16Gbpsファイバー・チャンネル(FC、FC-NVMe)、32Gbpsファイバー・チャンネル(FC、FC-NVMe)、12Gbps SAS |
| 対応ドライブ | 2.5インチNVMe FlashCoreモジュール(FCM): – 4.8TB、9.6TB、19.2TB、38.4TBの自己圧縮FCM 2.5インチNVMeフラッシュ・ドライブ—業界標準: – 800GB、1.92TB、3.84TB、7.68TB、30.72TB ストレージ・クラス・メモリー(SCM): – 1.6TB |
| スケーラビリティ | IBM FlashSystem 5200は、スケールアウトとスケールアップが可能で、単一システムとして運用可能で – 最大4つのシステムにスケールアウト – 2Uの拡張エンクロージャーを最大20台、5Uの拡張エンクロージャーを32PBで最大8台まで拡張可能 |
| 最大対応ドライブ数 | コントロール・エンクロージャー1台につき748台。クラスター・システム1つにつき2,992台 IBM FlashSystem 5200コントロール・エンクロージャーは、以下の拡張に対応: – 小型フォーム・ファクター・エンクロージャー: 24台の2.5インチ・ドライブ – 大型フォーム・ファクター・エンクロージャー: 12台の3.5インチ・ドライブ – 高密度拡張エンクロージャー: 92台の3.5インチ・ドライブ |
| RAIDレベル | 分散RAID1、5、6 |
| コントロール・エンクロージャー 容積および重量 | 高さ: 4.3cm (1.7インチ) 幅: 44.6cm (17.5インチ) (19インチラック標準) 奥行: 77.0cm (30.3インチ) 重量: フル構成(ドライブ・モジュール12個搭載): 19.5kg (43.0ポンド) |

© Copyright IBM Corporation 2022

日本アイ・ピー・エム株式会社
〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19-21

米国で制作
2022年2月

IBM、IBMロゴ、ibm.com、Easy Tier、FlashCopy、HyperSwap、IBM Cloud、IBM FlashCore、IBM FlashSystem、およびIBM Spectrumは、世界中の多くの国々で登録されたInternational Business Machines Corp.の商標です。その他の製品名およびサービス名は、IBMまたは他社の商標である可能性があります。IBMの商標の最新リストは、Web上の「著作権および商標に関する情報」でご覧いただけます。
ibm.com/legal/copytrade.shtml

Microsoft、Windows、Windows NT、Windowsロゴは、米国Microsoft Corporationの米国、その他の国、またはその両方における商標です。

このドキュメントは、最初の発行日現在のものであり、IBMによって随時変更される可能性があります。IBMが事業を展開しているすべての国で、すべての提供物が利用できるわけではありません。

本ドキュメントの情報は、明示または黙示を問わず、商品性、特定目的への適合性および非侵害の保証を含むいかなる保証もなしに、「現状のまま」提供されるものです。IBM製品は、それらが提供される契約の条件に従って保証されます。

- 1 IBM Lab Servicesで導入した場合、HyperSwapを100%保証
- 2 契約書の締結が必要
- 3 業界標準の最大容量15.3TBと比較して、38.4TBのFlashCoreモジュール

